

# 各 駅 停 車

社会福祉法人 豊田市福祉事業団  
No.33 2010. 8. 6 (季刊)

回 覧

福祉と障がいのある方を理解するための情報紙

## 豊田市こども発達センター 15周年記念号

平成8年4月に開所した豊田市こども発達センターは今年度15周年を迎えることができました。そこで、第33号と第34号では15周年に関連した内容を中心にお伝えします。

### 豊田市こども発達センター15周年を迎えて～感謝～



センター長  
高橋 修

豊田市こども発達センターは、おかげさまで無事に開設15周年を迎えることになりました。1996年4月に開設されて以来、センターをご利用いただいた方々、多くの関係機関・関係者・ボランティア、そして、温かく見守っていただいた市民の皆様方に心より感謝申し上げます。

開設当時は発達に支援が必要な子どもは多くても2～3%と考えられていましたが、今では約10%といわれるようになり、センター診療所の受診者も昨年度末で8,600名を超えるまでになりました。子どもの発達の支援とご家族の子育て支援も乳児期早くから行えるようになり、昨年度は早くから発達支援を行った300名におよぶ子どもたちがこども園・幼稚園・小学校に巣立ち、元気に園・学校生活を楽しんでおります。

今年度は15周年ということもあり、センターのロゴマークの制定や記念セミナーなど記念事業も予定しております。ぜひ、これら事業にご参加いただけますと幸いです。

子どもたちは地域の宝です。どんなに発達がゆっくりでも、子どもは確実に発達していきます。これからも、市民の皆様方のご支援をいただきながら、子どもたちとご家族にとって「希望のオアシス」であれたらとの初心を大切に歩んでゆきたいと考えております。変わらぬご理解とご支援を宜しくお願いいたします。

### 15年間支えてくださったボランティアさん紹介（「たんぽぽ」療育ボランティア編）

肢体不自由児通園施設たんぽぽでは4歳児と5歳児に単独療育の日を設けています。普段は親子で通園し療育を行っていますが、単独療育の日はボランティアさんの介助のもと、お母さんや家族と離れて過ごします。

この単独療育を通じて、家族以外の介助に慣れることができ、就学に向けた心の準備が少しずつ進められます。また、たくさんのボランティアさんとの交流の中で人への関心が持てるようになり、経験の幅を広げられます。

以前はボランティアさんの多くが、たんぽぽOBのお母さんたちだったのですが、今では事業団のホームページを見てやってみたくて電話をくださる方が増え、学生の方から主婦の方までご協力をいただいています。

いつも子どもたちに優しく声をかけてくださり、歩く練習や体操に丁寧にかかわってもらい、活動も子どもたちのできる部分を大事にしながら一緒に過ごしてもらっています。ボランティアさんたちの愛情あふれる一生懸命な関わりが伝わり、子どもたちはとてもうれしそうです。本当にありがとうございます。



### 「こどもひろば」託児ボランティアを募集しています

○活動場所…豊田市こども発達センター内 こどもひろば  
(豊田市西山町2-19 梅坪台中学校東)

○活動日時…毎週月曜日～金曜日の10時から12時30分まで  
\*月に1回でも構いません

○活動内容…療育に参加している子どもさんたちの兄弟姉妹を託児する

○お問合せ…豊田市こども発達センター松野(たんぽぽ施設長)  
電話 0565-32-8982 FAX 0565-32-8987

\*育児経験の有無は問いません。子どもが好きな方ならどなたでもお待ちしております。

かわいい笑顔に囲まれながら、楽しい穏やかな時間を過ごしませんか？(特に月・木・金曜日にご都合のつく方)



## 豊田市こども発達センター15周年記念ロゴマークを募集します

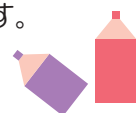
- 募集作品・豊田市福祉事業団「豊田市こども発達センター」を表すロゴマークで市民の皆様に親しまれるもの、ホームページやレターヘッドなどで幅広く使用ができるもの。
- 応募資格・特にありません。
- 応募方法・A4版白色用紙を使用してください（手書きでもCGでも構いません。彩色は自由）。拡大、縮小、モノクロとして利用または若干の修正をする場合があります。図案は約10cm×10cmに収まる大きさで、用紙1枚に1作品とします。
  - \*自作かつ未発表でほかに類似の作品がないものに限りです。複数の応募もできます。
  - ・応募用紙（豊田市福祉事業団ホームページからダウンロードできます）に必要事項を記入して、作品を郵送するか、件名を「ロゴマーク応募」として作品案のデータ（ファイル形式はJpeg解像度1024×768ピクセル以下）に応募用紙を添付してメールで送信してください。
  - ・必要事項にもれがあった場合は無効です。応募作品は返却しません。作品が届かない、データが破損したなどの場合の責は負いません。なお、著作権などの権利は社会福祉法人豊田市福祉事業団に譲渡されるものとします。
- 締切・平成22年10月15日（金）必着（二次募集を行うこともあります。）
- 選考・「設立15周年記念事業委員会」において審査し1件を選定します。発表は平成22年11月の予定です。採用された方には図書カード2万円分を贈呈します。採用された方には直接連絡するほか、ホームページなどに掲載します。
- 応募先 〒471-0062 豊田市西山町2-19

問合せ 豊田市こども発達センター「ロゴマーク係」  
 電話 0565-32-8980 FAX 0565-32-8987  
 E-mail fukushijigyodan@city.toyota.aichi.jp  
 HP <http://WWW.fukushijigyodan.toyota.aichi.jp>



## 豊田市こども発達センター15周年記念セミナーのご案内

「今、発達支援を考える」をテーマに11月7日（日）午前10時より公開セミナーを開催します。詳細は、広報とよた9月1日号または9月1日以降の事業団ホームページをご覧ください。



## 平成21年度 豊田市福祉事業団総括事業報告

平成21年度 貸借対照表 平成22年3月31日現在（単位：円）

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	171,198,942	流動負債	148,808,272
固定資産	152,249,262	固定負債	136,749,262
		負債の合計	285,557,534
		純資産の部	
		基本金	10,000,000
		その他の積立金	5,500,000
		次期繰越活動収支差額	22,390,670
		純資産の部合計	37,890,670
資産の部合計	323,448,204	負債及び純資産の部合計	323,448,204

利用者の主体性と選択性を尊重し、自立と社会参加の充実を目指した事業展開に努めました。

小児部門においては、こども発達センターが利用者の希望のオアシスとして「元気はつらつ あふれる笑顔」をモットーに、通園施設や地域支援のあり方を検討し、利用者アンケート調査結果を基に、療育内容の「更なる充実」を図りました。

また、成人部門においては、各施設の連携により、相談・生活介護・就労支援活動等の総合的専門機能を最大限に発揮して、障がい者の生活・就労支援の推進を図りました。